

糸井河原・水害記念碑
昭和村ボランティアガイドの会

事務局長 島田 民夫

終戦直後の昭和二十二年から二十四年まで、昭和村は三年続けて未曾有の災害に襲われ、利根川や片品川が氾濫した。赤城山から発する幾筋の沢では、優良な森林が戦時中に伐採・供出されていたため土砂が流れ出し、役場裏近くの片品川に架かっていた二重一見橋(糸井吹張と上沼須を結び、沼田町に続く重要な橋)では流木などが雨で流されて引っかかり、ミニダムの状態となった。これに耐えきれなくなつた本流は、片品川流域をさらに大きく流れ川が呑み込めなくなつた濁流が堤防を越えて片品川左岸の県道方面に流出。糸井河原や椽久保三ツ谷で人家や田畑を押し流したという。これらのことは、古老の話や久呂保・糸之瀬・赤城根村誌などに記録されているので、私は知っている。

私の散策コースの一つである糸井河原には、当時の記念碑がある。以前から知ってはいたが細部を検証するのは初めてである。日本国ができて二千年、そして二万年から五万年におよぶ、村の地形に関わる長い歴史もろがかい知ることができると、私たちの先人があらゆる困

難を乗り越え、生き続けてきたことを思うと、過去に起きた出来事を記録にとどめ、残された人々にそのことを伝えて「つなぐ」ことの大切さを深く認識した。現在、日本各地で災害に見舞われている。生きるために、次代の人に正しく「つなぐ」必要があるという意味でも、この記念碑は重要なものである。



糸井河原の水害記念碑

記念碑の揮毫は、当時の糸之瀬村長、萩原正治氏による。記念碑裏の文を一部紹介する。

一、災害年月日 昭和二十二年九月十五日 一、罹災戸数 十二戸
昭和五十二年九月十五日建立流出者一同 協賛者芳名 県議会議員 林辰衛 農協組合長 藤井八弥 専務理事 田村初伊 増田工業社長 増田三郎他九名 役場建設課長 新木昇、奥利絡農業共同組合 目崎栄治他三名
罹災者発起人 代表 林磯司 副代表 鈴木新吉 書記 石井泰秋 会計 高橋坦 監査 新木武夫 堀邦夫 委員 星泰助 加藤勝太郎 藤井吉太郎 小野正雄 岡村武 施工者 石坂建設 石工 目崎石材店
記念碑(裏)揮毫 根岸悟峰(書)

地域包括支援センターだより

医療・介護の仕事図鑑

医師	看護師	薬剤師	歯科衛生士
保健師	歯科医師	精神保健福祉士	作業療法士
管理栄養士	社会福祉士	ケアマネジャー	介護福祉士
理学療法士	言語聴覚士	福祉住環境コーディネーター	福祉用具専門相談員
医療・介護事務	WEB公開中	みんなのために、未来ある仕事を。	

「あまのたわ」で検索！
©2021 ねまたとね医療・介護連携協議会

中学生・高校生の皆さんへ

医療・介護の仕事図鑑を ご覧ください

沼田利根医師会では、中学生や高校生の皆さんに医療や介護の仕事に興味・関心を持っていただくことと「医療・介護の仕事図鑑」を作成しました。下のQRコードからアクセスするところを覗いただけです。

今後、利根沼田地域のさまざまな場所にポスターを掲示するなど、周知に向けた取り組みを進めます。SNSなどで「#仕事図鑑」とハッシュタグをつけて投稿すると、何かいいことがあるかもしれません。

▼問合せめまたね医療・介護連携相談室
0278-2513671